

((投稿規程))

2014年7月10日

1. 鶏病研究会報は、本会の趣旨に沿った内容を持つ解説・総説および会員による投稿原稿などを掲載する。

2. 投稿区分は次のとおりとする。

解説・総説：すでに認められた業績、技術あるいは情報等についての解説で、編集委員会が依頼あるいは承認したもの。

研究報告：新知見を含む学術報告としてまとめられた原著論文。

業績ノート：症例報告、調査成績、衛生指導成績など、研究論文として十分整理されていない知見や速報的な短い論文。

資料：関連の学術情報の速報、調査資料、統計資料、通達等。

文献紹介：外国雑誌の訳、抄訳。

その他：上記区分以外の原稿も、本会報の趣旨に沿うものは掲載する。

3. 「研究論文（研究報告および業績ノート）」の執筆要領

1) 原稿は原則としてワープロソフト(ワード)で作成し、

A4用紙に24~26行、1行約40字で印刷する。

2) 最初の頁は表紙とし、希望する投稿区分、表題、著者名(全員)、所属機関および住所(全員)を記載する。2頁以降を本文とする。原稿には通し頁数および通し行数を入れる。なお、投稿区分は最終的には編集委員会で決定する。

3) 主著者と共著者の所属・住所が異なる場合は、共著者名の右肩に¹⁾、²⁾を付けそれぞれの所属・住所を記す。

4) 主著者の所属・住所に変更があった場合は、著者名の右肩に¹⁾を付し、投稿時の所属・住所の下に¹⁾現在：所属、住所(英文では、¹⁾Present Address：所属、住所)を記す。

主著者ではなく、共著者が論文の連絡責任者である場合、連絡責任者の氏名を表紙最下段に記入する。連絡責任者となる共著者名の右肩に†を付す。

5) 本文は次の項目および順で記載する。

①要約(和文)、②キーワード5字以内(ABC順に記載)③緒言、④材料と方法、⑤成績、⑥考察、⑦文献、⑧英文要約¹⁾(Summary)。英文要約は表題、著者名、所属、

住所、本文、キーワード(ABC順)とする。

6) 業績ノートは研究報告のような項目別に記述する必要はないが、それに準じて簡潔に短く記述する。定法にしたがった方法などは詳細に記述する必要はない。

7) 中見出しの記号は次のとおりとする。

1. ┌ 1) ┌ a. ┌ a)
2. └ 2) └ b. └ b)

8) 謝辞は必要な場合、考察の最後に追記する。

9) 引用文献は本文中の引用箇所右肩に¹⁾、²⁾、⁵⁾のように記載する。

10) 引用文献の略誌名は別記例を参考に、和文論文は和文で、欧文論文は欧文で記載する。配列は筆頭著者名のABC順とする。同一の場合は年代順とする。共著者が3名以内の時は全員を、4名以上のときは“ら”または*et al.*とする。略誌名はイタリックで示す。記載例を以下に示す。著者の責任で正確な文献の記載(著者名、巻数、ページ数、年等)をする。

1) Hodges, R.D. : The Histology of the Fowl. Academic Press, London (1974)

2) 今田忠男, 前田稔 : 鶏ウイルス性腎炎, pp. 225-236. 鶏病診断, 堀内貞治編, 家の光協会, 東京 (1982)

3) Katiyar, A. K., Vegard, J.L. and Awardhia, R. P. : Increased vascular permeability and leukocyte emigration in *Escherichia coli* endotoxin injury in the chicken skin. *Res. Vet. Sci.* 52, 154-161(1992)

4) Nagaraja, N. V., Pomeroy, B. S. and Williams, J. E.: Paratyphoid infection. pp. 99-130. In : Diseases of Poultry, 9th ed. (Calnek, B.W. *et al.* eds.), Iowa State Univ. Press, Ames, Iowa (1991)

5) Shirai, J. *et al.* : Pathologically and serologically different avian nephritis virus isolates implicated in etiology of baby chick nephropathy. *Avian Dis.* 36, 369-377(1992)

6) 矢野雅之ら : *Salmonella* Enteritidis に感染した

輸入検疫ひなの組織学的、免疫学的検討. 鶏病研
報 28, 29-34(1992)

- 11) 図、表、写真は本文中に挿入せず、別紙にまとめる。
写真には説明文を付す。
 - 12) 表に脚注を要する場合は、表示語句の右肩に a), b), c) を付
記し、表の下欄外にそれぞれの説明を記す。
 - 13) 図、表、写真の使用は必要最低限にとどめ、可能な限
り本文に記載する。
 - 14) 用いる漢字は専門用語を除いて原則として常用漢字の
範囲とする。略号を使用する場合は、論文中ではじめて
使用する箇所に完全な語を挙げ、その後に略称をカッコ
内に示す。学名などイタリックで記すものは、イタリッ
クで印字する。
 - 15) 動物名は一般に使用されているもの（人、鶏など）は
漢字で、その他はカタカナで記す。
 - 16) 鶏病に関する用語は鶏病用語コード 2010(本誌 46,
143~163 頁)を用いる。年号は、やむをえない場合以外
は西暦を用いる。
 - 17) その他の用語・用字は本会報で慣用しているものを用
いる。
4. 「研究論文（研究報告および業績ノート）」以外の原稿の
執筆要領
- 1) 記載の体裁は自由とし、用語などは研究論文と同じ。
 - 2) 解説・総説には研究論文に準じた英文要約および引用文
献を載せる。そのほかの原稿には必要に応じて引用文献
を付す。
5. 原稿はワープロ（ワード）で作成し 2 部（写真原図も含
む）提出する。E-mail アドレスを記載すること。
6. 投稿原稿は、図・表も含めて刷り上り 5 頁（1 頁 2,392
字）以内とする。写真は原則として横 8cm の大きさとす
る（縦は自由）。超過頁印刷およびカラー印刷については
実費を著者負担とする。画像ファイルは解像度の高いも
のを送付すること。
7. 研究論文（研究報告および業績ノート）は、本会報の
編集委員を含む 2 名の審査委員が審査し、編集委員長が
採否を決定する。動物の取り扱いに倫理上の問題がある
ものは採用しない。
8. 内容、用語等が不適切な原稿は、審査委員あるいは編
集委員会が修正を求める。
9. 本会報への投稿料は無料とする。

10. 別刷は希望者に実費で配布する。希望者は事務局に前
以ってその旨を申し込む。
11. 会報に掲載したものの著作権は、鶏病研究会に帰属す
る。これを利用しようとするものは、鶏病研究会の許可
を得なければならない。
12. 原稿の送付は下記宛とする。

〒305-0856 茨城県つくば市観音台 1-21-7
サンビレッジ川村 C-101
鶏病研究会

*1 原則として、解説・総説、研究報告、業績ノートには英
文要約をつける。

英文要約の校閲は本会が行う。